

企業名： NISSHA

レポート名： Nissha Report 2022

1. この会社が目指す姿が理解できるか

P11~P12 にサステナビリティビジョンとして、「多様な技術や人材能力の結集・融合により、メディカル・モビリティ・環境に関わるグローバルな社会課題の解決に貢献し人々の豊かな生活を実現する。」という長期的な事業目標を立てている。その具体的内容としても、IT 機器、メディカル、モビリティ、サステナブル資材の 4 つの項目において、それぞれの将来的な目標を立てている。例えば、IT 機器関連の目標は、IT 技術により培ったケイパビリティを用いて社会課題を解決することなどであり、モビリティ関連の目標は、安全性及び利便性の向上や環境負荷の軽減などである。以上のように、企業全体としての将来的な目標が理解できるとともに、事業ごとの目標もそれぞれ明記されているため、この会社が目指す姿は、当該レポートからとても明瞭に理解できるようになっているといえる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

このレポートには、競業他社との比較等がほとんどなく、他社との優位性についてもバラバラな項目に偏在しているため、この会社の競争優位性はこのレポートからは少々読み取りにくく感じた。

また、固有かどうかにかかわらないこの企業の価値についても考えてみると以下の点があげられる。

- ① コア技術を中心とした多岐にわたる技術力
- ② 海外社員が多いなど社員の多様性
- ③ マテリアリティ(重要項目)の「リスクの低減」の項目を刷新するなど、リスク管理に積極的
- ④ CO2 の排出量削減について具体的な数値目標を立て、2050 年の排出量ゼロを目指し、具体的な施策を実施している

以上のように、NISSHA は企業の特徴や長所については詳しく述べられているが、競業他社との比較に乏しく、他の企業とどのように差別化されているのか等が不明瞭であるため、競争優位性についてはこのレポートからは理解しがたいといえる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

SDGs などの持続可能な開発等が国際的に推進されている中、地球温暖化を抑制するための CO2 削減は世界的な課題とされており、CO2 削減政策が今後ますます注目されていくことが予想できることを考慮すると、項目 2 で NISSHA の価値としてあげた CO2 削減に対する積極性は、企業価値として今後ますます評価されていくのではないかと考えられる。

また、今後様々な場所で IT 化、DX が進行していくことを考えると、IT 機器による社会課題の解決等も将来的な目標として掲げている NISSHA は今後ますます IT 技術において企業価値を高めていくと考えられる。

さらに、事業全体でも、第 5 次、第 6 次中期経営計画の課題点をリストアップしたうえで、サステナビリティビジョン(2030 年のあるべき姿)から逆算して、第 7 次中期経営計画を策定しており、企業の成長に対しても前向きであることがわかり、企業の競争優位性今後も維持あるいは向上していくのではないかと考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

これからの生活に必須となる IT 技術事業を得意としているため、IT スキルを養うにはとても良いと考える。また、メディカルやモビリティなど多岐にわたる事業展開も行っているため、様々な分野の知識を養うこともできるため、自己の人的資本の価値向上を達成するのにとても良い企業であると考えられる。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

項目 2 でも述べたが、やはり競業他社との比較が殆どなく、この会社独自の価値や、他の企業より抜きん出ているステータス等がこのレポートだけでは読み取れず、レポートとしての不完全性を感じた。今後は、企業の個性や特徴をあげる際に競業他社と比較しながら主張するのが良いと考えた。

・参考文献

NISSHA 株式会社, 『Nissha Report (統合報告書)』, <https://www.nissha.com/ir/library/nisshareport.html>